



ご参考

世田谷区

しroyama倶楽部

(通称 しroyama)

理念・目的

クラブは、活動場所を確保し、地域の人たちのスポーツ、文化活動を通じて、「児童・生徒の健全育成」と「豊かな地域コミュニティの形成」を目指す活動を目的としています。「地域に根ざしたクラブ」「会員ファースト」を旨とし、当たり前のことを当たり前、唯々、愚直に運営させていただくことを役員、運営委員は常に心がけています。

歴史

- 2005年1月 日本体育協会 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業認可 設立準備委員会組織化
- 2007年4月 設立総会
- 2012年10月 世田谷区制80周年式典 団体功労表彰 受賞
- 2013年10月 スポーツ祭東京2013(国体)協力
- 2015年10月 東京都スポーツ功労団体賞 受賞
- 2017年10月 設立10周年記念式典、記念誌発行
- 2020年10月 しroyamaウォーク※コロナ禍でも出来るイベントを熟慮の上実施

「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」 「地域密着多世代交流」

設立経緯

世田谷区は小学校の校庭を日曜日一般開放する「遊び場開放」制度があります。運営委員の中から、ただ場所提供するのではなく継続性のあるプログラムの必要性が論じられ、2002年から「スポーツサンデー」を開催。世田谷区で最初に設立された“東深沢スポーツ文化クラブ”、2番目の“ようがコミュニティークラブ”の存在にも触発され、当時の校長先生、BOP 事務局長、スポーツ推進委員が中心となり、地域、町会の強力なサポートもあり、設立に至りました。



テストページ (イメージサンプル)

しroyama倶楽部様のご協力で作成しました。ご参考ください。成果品はデザインや内容等異なる場合があります。

クラブの特色・クラブ自慢

- 全種目(プログラム)は自立したクラブとして、自主運営しています。
- 16歳以上の会員は総会構成メンバーで、会員個人が運営に参画できる機会を持っています。
- 役員会、運営委員会のほか、学校長やPTA会長、町会・自治会長、児童館、スポーツ推進委員、青少年委員の各代表で構成する評議員も重要な役割を果たしています。



基本情報

- ◇事務局 世田谷区梅丘 2-1-11 世田谷区立城山小学校内
- ◇代表者 廣川 哲 (会長)
- ◇電話 03-3428-1482
- ◇Mail info@shiroyama-club.org
- ◇URL http://www.shiroyama-club.org



- ◇主な対象エリア 城山小、山崎小学校区
- ◇主な活動場所 城山小学校、山崎小学校、世田谷中学校など

◇活動種目

- スポーツ活動 11種目
ショートテニス、ソフトバレーボール、卓球、太極拳、フットサル、健康体操、バスケット、親子体操、HIP HOP DANCE、スポーツ吹き矢、空手道
- 文化活動 5種目
お花クラブ、筆と紙で楽しむ会、手作りサロン、英語教室、コーラス

- ◇活動タイプ 教室・スクール形式 — サークル・部形式 16

◇恒例・定例行事・大会

- 総会 (6月) 体験会 (月)
- サマーワークショップ (月)
- フェスティバル(都民参加事業) (10月)

- ◇会員数 350人
- ◇世代割合 子供 30% おとな 40% シニア 30%
- ◇クラブ役員 6名
- ◇クラブスタッフ 20名
- ◇指導者 内部指導者 30名 外部指導者 5名
- ◇総会構成会員数 230人 ※16歳以上の会員全員に議決権あり
- ◇年間予算 170万円 ※種目の別会計あり

○毎年、10月第4日曜日開催のフェスティバルは東京都の都民参加事業(補助事業)として実施しています。会員や地域住民に、スポーツ・文化活動を通して、総合型クラブの存在意義を認知いただく大切な場となっています。

○学校施設が活動拠点のため、体力測定や運動会、夏休みのサマーワークショップの運営などに積極的に参画しています。

○城山小学校内に事務局を構えていますが、城山小学校の「しろ」と山崎小学校、山崎中学校(現世田谷中学校)の「やま」を合わせて、「しroyama」と命名しています。



今後の課題・目標・夢

総合型クラブの登録・認証制度に向けて、より情報公開の徹底に努めます。指導者謝金の適正給付についても実現したいと考えています。

夢は、会員による会員のための自主運営モデルケースとして、全国の総合型クラブの仲間と繋がり、新規立ち上げクラブのサポート(勇気とに希望)の一助になりたい。課題は、役員・運営メンバーの世代交代の推進です。